YSK

焼津水産化学工業株式会社

BUSINESS REPORT 2024

2024年3月期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

株主の皆さまへ

「価値創造の加速」を経営ビジョンとして、
顧客課題の解決、社会課題の解決で価値創造を加速させてまいります。

代表取締役社長　**山田　潤**

当期の事業の概況

当第2四半期の連結売上高につきましては、調味料、機能食品及びその他セグメントの売上高が増加しましたが、水産物セグメントの売上高が減少したことから、微減となりました。一方、利益面につきましては、原材料価格等の上昇や取引先との値上げ交渉の妥結の遅れに伴う採算性悪化により大幅減益となりました。

このように当社を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、当社が中長期的に企業価値を高めていくために、戦略的パートナーの下当社株式を非公開化し、十分な事業投資を行い、かつ大胆な経営改革を行うことが経営上の合理的な選択肢であるという考えに至りましたことから、YJホールディング株式会社による当社株式の公開買い付けに対し、応募を推奨する意見を表明いたしました。しかしながら、公開買付けは不成立となり、当社は今後も上場を維持することになりました。

当社グループでは、2027年3月期までの中期経営計画に基づき、「価値創造の加速」を経営ビジョンとして、(1) 安全・安心の向上、(2) 国内事業（調味料、機能性）の強化、(3) 海外展開の加速、(4) 新たな事業分野の創出の4つの基本戦略へ経営資源を投入してまいります。また、「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、人財・設備への投資、株主還元、新規事業分野への投資を継続することで企業価値の向上を図っていきます。

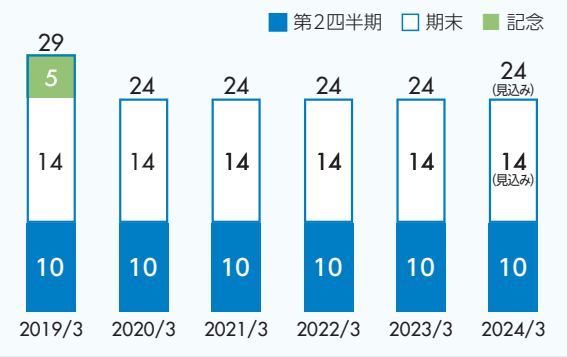
配当について

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。利益配分につきましては、時代のニーズに対応するために研究開発、生産、市場開拓等への投資を進める一方で、配当性向を勘案しつつ継続的に安定した配当を実施することを基本方針としております。当期の中間配当金につきましては、前期の中間配当と同じく1株当たり10円とさせていただきました。期末配当につきましては、1株当たり14円（中間と合わせて24円）を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

配当金推移

（単位：円）



中期経営計画

当社グループは「価値創造の加速」をビジョンとして2027年3月までの中期経営計画を策定しております。

4つの基本戦略に基づいた施策により、2027年3月期（最終年度）の定量目標（右下の表をご参照ください）達成を目指します。また、「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、キャッシュアロケーションとして計画期間を通じて人財・設備への投資：35億円、株主還元：20億円、新規事業分野への投資：5億円を実施することなどで企業価値の向上を図っていきます。ビジョン達成に向け、グループ一丸となって活動していきます。

基本戦略

(1) 安全・安心の向上：新たな価値創造に向けた品質保証体制の確立

(2) 国内事業（調味料・機能性）の強化：特定市場の深掘りによる調味料事業分野におけるシェア拡大、マーケットインによるオリジナル素材の積極的な商品投入

(3) 海外展開の加速：ASEANと米国に向けた積極投資

(4) 新たな事業分野創出：スタートアップとの協業、M&Aを活用した事業分野の拡大

（単位：百万円）

	2023年3月期（実績）	2027年3月期（目標）	増減
連結売上高	12,829	15,006	+2,177
連結営業利益	329	495	+166
ROE	1.5%	1.9%	+0.4pt

※なお、2027年3月期までの成長投資は70億円程度を想定しております。

TOPICS

主力素材であるN-アセチルグルコサミン（NAG）の生産体制を強化

当社は、当社機能性食品の主力素材で国内シェアNo.1であるN-アセチルグルコサミン(NAG)の製造工場に、総額約8億円を投じた改良工事を行い、稼働を再開いたしました。

この投資によりNAGの生産工程の見直しと設備の改良を行い、生産能力を30%向上させ、事業拡大を加速していきます。

TOPICS

新製品「エビエキスOMR」を発売

当社はこのたび、エビ素材の新製品「エビエキスOMR」の販売を開始しました。

当社はこれまで、各素材が持つ旨み・風味を活かす製造技術を用いて、多様な液体調味料を発売してきましたが、和風系に合う品質が主体でした。

洋風メニューに合う新製品「エビエキスOMR」を発売することで製品ラインナップを拡充し販売量拡大に繋げていきます。

TOPICS

国内工場（大東工場）でハラール認証を取得

当社はこのたび、液体調味料の3品目について、イスラムの戒律に則って製造される『液体調味料』として、日本のハラール認証機関である『NPO法人 日本アジアハラール協会（NAHA）』の認証を取得しました。今回当社が取得したNAHAのハラール認証は、マレーシア/JAKIM・シンガポール/MUIS・タイ/CICOTのハラール認証機関から相互認証を受けており、該当諸国への輸出・販売に対し有効なものです。

現中期経営計画の基本戦略である『海外展開の加速』の一環としてハラール認証取得の活動を進め、既存市場での販売増進並びに新規市場開拓を実現し、さらなる海外ビジネスの拡大を目指してまいります。

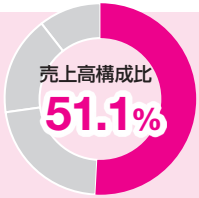
CSR

静岡県立こども病院に「紙アクアリウム」を寄贈

昨年に引き続き、これからの未来を支える子どもたちのための取組みとして、静岡県立こども病院へ「紙アクアリウム」の寄贈を行い、9月13日に贈呈式が行われました。坂本喜三郎院長より「自分が描いた絵が出てくると嬉しいのでしょう。『もっとやりたい』と、こども達はその場から離れず、列ができるほどの人気です。始まって1年、本当にありがとうございます。」との謝辞がありました。

当社は今後も、こども病院をはじめとした地域のこども達の未来に向けた活動を応援する取組みを継続してまいります。

天然調味料の製造
調味料の受託加工



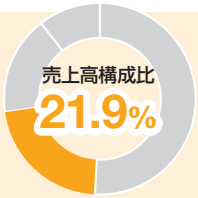
調味料

売上高	33億 27百万円	前年同期比 4.0%増
セグメント利益	2億 17百万円	前年同期比 8.2%減

昆布・エビ調味料の販売強化や販売価格の改定を行いましたが、販売費及び一般管理費の増加により増収減益となりました。

天然調味料
カツオエキス　昆布エキス　エビエキス
カニエキス　オイスターエキス　etc.

機能性食品素材の製造　健康食品の通信販売
機能食品の受託加工



機能食品

売上高	14億 28百万円	前年同期比 0.6%増
セグメント利益	2億 52百万円	前年同期比 4.1%増

健康食品の通信販売は苦戦が続いていますが、広告宣伝費等が減少したことにより増収増益となりました。

機能性素材
N-アセチルグルコサミン　アンセリン　フコース
マリンコラーゲン　フコイダン　etc.

水産物の問屋業　倉庫業
水産物の加工

水産物

売上高	10億 86百万円	前年同期比 25.9%減
セグメント利益	11百万円	前年同期比 74.9%減

海外販売が好調に推移した一方で、国内向けでは低調な販売となり、原料原価高に経費削減が追い付かず、減収減益となりました。

その他商品
化粧品通販事業

その他

売上高	6億 71百万円	前年同期比 31.9%増
セグメント利益	12百万円	前年同期比 23.3%減

その他商品の海外向け販売が伸長しましたが、販売費及び一般管理費の増加により増収減益となりました。

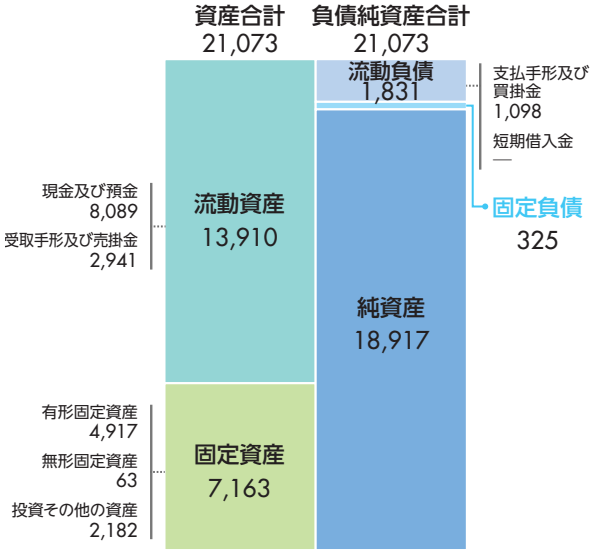
※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用（424百万円）控除前のものです。

連結財務諸表

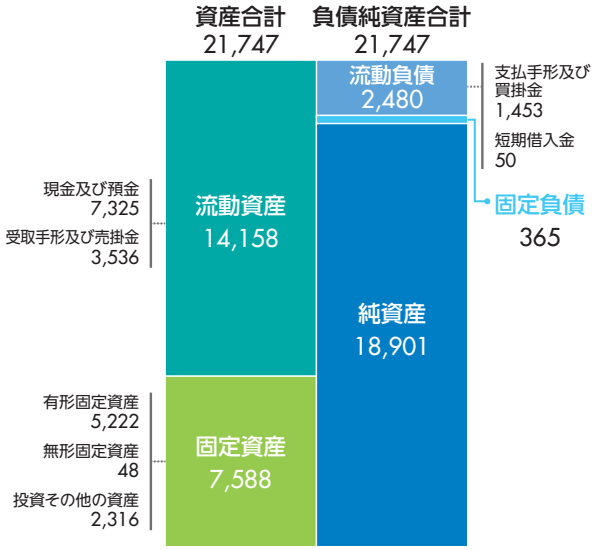
連結貸借対照表の概要

（単位：百万円未満切り捨て）

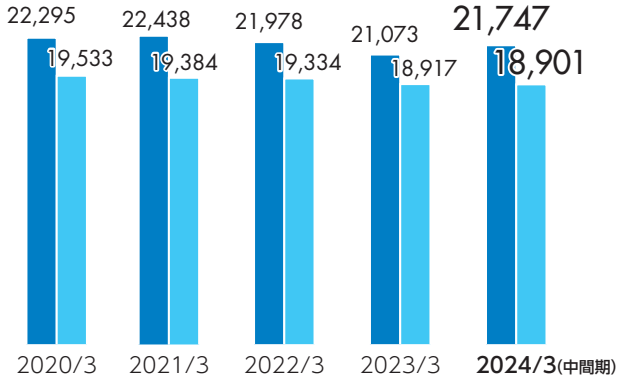
前期（2023年3月末）



当中間期（2023年9月末）



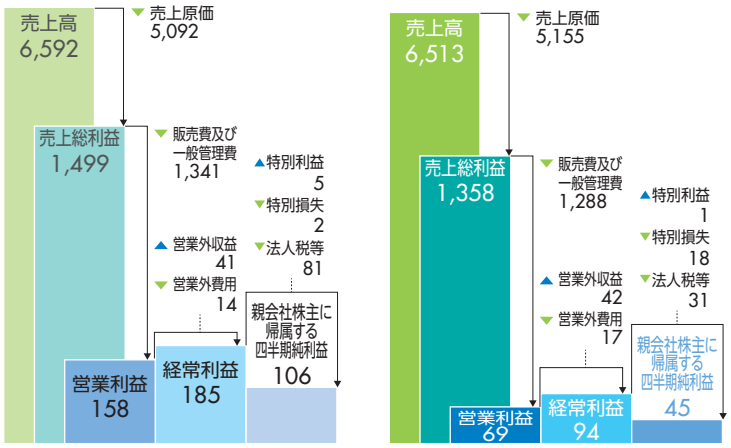
● 総資産　● 純資産　（単位：百万円）



- 当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加し、217億47百万円となりました。
- 流動資産は、現金及び預金が7億63百万円、商品及び製品が1億69百万円、その他が99百万円減少した一方、原材料及び貯蔵品が6億96百万円、受取手形及び売掛金が5億95百万円増加したこと等により2億48百万円増加し、141億58百万円となりました。
- 固定資産は、団地工場のリニューアルに伴い建設仮勘定が4億53百万円増加したことにより有形固定資産が3億4百万円増加したほか、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が1億28百万円増加したこと等により4億24百万円増加し、75億88百万円となりました。
- 流動負債は、支払手形及び買掛金が3億54百万円、その他が1億81百万円増加したこと等により6億48百万円増加し、24億80百万円となりました。
- 固定負債は、繰延税金負債が43百万円増加したこと等により40百万円増加し、3億65百万円となりました。
- 純資産は、その他有価証券評価差額金が98百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が45百万円となった一方で、配当金の支払い1億60百万円により利益剰余金が1億14百万円減少したことから15百万円減少し189億1百万円となりました。この結果、自己資本比率は86.9%となりました。

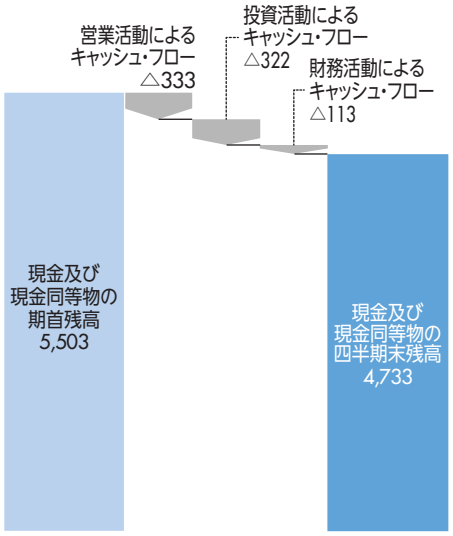
連結損益計算書の概要 （単位：百万円未満切り捨て）

前中間期（2022年4月1日～2022年9月30日） ➡ 当中間期（2023年4月1日～2023年9月30日）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 （単位：百万円未満切り捨て）

当中間期（2023年4月1日～2023年9月30日）



- 連結売上高につきましては、調味料、機能食品及びその他セグメントの売上高は増加したものの水産物セグメントの売上高が減少したことから、65億13百万円（前年同期比78百万円、1.2%減）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の経費削減のほか、製造コスト上昇に伴う販売価格の改定や生産性改善への取組みを行っているものの、原材料価格等の上昇や取引先との値上げ交渉の妥結の遅れに伴い採算性が悪化したことから、連結営業利益は69百万円（同88百万円、55.8%減）となりました。また、連結経常利益は、94百万円（同90百万円、49.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（同60百万円、57.0%減）となりました。

- 当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は47億33百万円となり、前連結会計年度末比7億69百万円減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
- 営業活動　当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は3億33百万円（前年同期比1億80百万円増）となりました。この内訳の主なものは、仕入債務の増加額3億54百万円、減価償却費2億1百万円、税金等調整前四半期純利益77百万円、法人税等の還付額1億2百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加額5億95百万円、棚卸資産の増加額5億13百万円等の減少要因によるものであります。
- 投資活動　当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は3億22百万円（前年同期比1億29百万円減）となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出3億20百万円等の減少要因によるものであります。
- 財務活動　当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は1億13百万円（前年同期比4億6百万円増）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1億59百万円等の減少要因によるものであります。

■会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料および機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	1959年5月15日
取引銀行	静岡銀行/三井住友信託銀行
事業所	
静岡本部	〒422-8067　静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静銀・中京銀静岡駅南ビル6F TEL.054-202-6030　FAX.054-202-6031
焼津本社	
営業所	東京、静岡、大阪、九州
工場	静岡県内3工場（焼津・団地工場　大東工場　掛川工場）
連結子会社	**●マルミフーズ株式会社** 資本金　100百万円　**当社の議決権比率**　100% **主な事業内容**　マグロ等の水産物の加工・販売 **●UMIウェルネス株式会社** 資本金　50百万円　**当社の議決権比率**　100% **主な事業内容**　健康食品・化粧品の通信販売

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主　3月31日 (2) 期末配当金受領株主　3月31日 (3) 中間配当金受領株主　9月30日 (4) その他必要あるとき　あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	（〒168-0063） 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号（0120）782-031［フリーダイヤル］
同取次所	三井住友信託銀行株式会社　全国各支店
公告の方法	電子公告　https://www.yskf.jp/ir/koukoku.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株式に関する各種手続きのお申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構（ほふり）に株式がある場合 ▶**株主様が口座を開設している証券会社** (2) 特別口座に株式がある場合 ▶**三井住友信託銀行株式会社** お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル（0120）782-031（9:00-17:00） ホームページ https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

■ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。

https://www.yskf.jp/

▲トップページ

UMIウェルネス オンラインショップ

オンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

■IRカレンダー

第1四半期			第2四半期		
	■5月上旬 期末決算発表		■6月下旬 定時株主総会	■8月上旬 第1四半期決算発表	
4月	5月	6月	7月	8月	9月
		■5月下旬 株主優待発送 ■6月上旬 定時株主総会招集ご通知発送			9月末日■ 中間配当金 受領株主確定日

第3四半期			第4四半期		
	■11月上旬 第2四半期決算発表			■2月上旬 第3四半期決算発表	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
					3月末日■ 決算日、期末配当受領株主確定日

UD FONT　VEGETABLE OIL INK